

高温に伴う農作物等の管理対策

令和4年8月5日

新潟県農林水産部

新潟地方気象台が8月4日14時30分に発表した「高温に関する早期天候情報（北陸地方）」によると、今後2週間程度は太平洋高気圧に覆われやすく、気温の高い状態が続き、特に、8月8日頃から平年よりかなり高くなる可能性があります。

下記の管理対策を参考にして、農作物や家畜等の管理に十分注意してください。また、熱中症の危険性が高い状態が続きますので、農作業時は水分補給や休憩時間を十分確保するなど健康管理に注意してください。

1 水稲

- (1) 高温登熟による品質低下を防ぐには、出穂期前後から出穂期25日後までの水管理の徹底が極めて重要となる。根の活力を保ち、土壌からの窒素供給を図るため、飽水管理を徹底する。
- (2) 異常高温や強風、フェーン現象が予想される時には速やかに湛水し、稲体からの急激な蒸散による障害の発生を防止する。ただし、高温下での長期間の湛水は根腐れにつながるため、適宜水の更新を行う。
- (3) 斑点米カメムシ類は、高温により加害活動が活発化するため、品種ごとに収穫期を確認して、薬剤防除を適期に実施する。

2 大豆

- (1) 排水が良いほ場では、暗きょ栓を閉めて土壌水分の保持に努め、干害の軽減を図る。ただし、降雨等により地下水位が急激に上昇した時は、速やかに暗きょ栓を開放する。
- (2) うね間かん水は、1日以内に地表水を排水できるほ場でのみ行い、条間の土が白く乾き、朝や夕方に最頂葉中央の個葉が直立し、葉の裏面が目立ってきたことを実施のめやすとする。
- (3) かん水時は暗きょ栓を閉じ、かん水終了後に開放する。大区画のほ場では、水口側の湿害を防止するため、数日かけてかん水する。
- (4) ハダニ類など高温時に多発する害虫の発生動向を把握し、被害の拡大が懸念される場合は早めに防除を行う。

3 園芸作物共通

- (1) 土壌水分の確保と地温低下を図るため、かん水施設のあるほ場では夕方にかん水する。うね間かん水する場合、根腐れを避けるため長時間滞水させない。
- (2) 施設栽培は、ハウス内温度の上昇を抑制するため、遮光資材の被覆や細霧冷房を実施するとともに、強制換気や施設側面の開放など通風を図る。
- (3) 果樹園では、強い日差しにより、果実や骨格枝背面に日焼けが起きやすくなるため、過度な新梢管理を控え、通風・採光に支障がない程度に留める。

- (4) 高温乾燥が続くとハダニ類やアザミウマ類、うどんこ病の発生が多くなるので、状況に応じて防除を行う。なお、日中高温時の薬剤散布は、薬害が発生する恐れがあるので避ける。

4 畜産

(1) 畜舎の管理

- ア 屋根、壁からの熱の伝導を防止するため、断熱塗料等の塗布、窓等への寒冷紗等の設置、散水の実施等を行う。
- イ 柵やネット等で野生鳥獣の侵入防止を図りつつ、開放畜舎では通風を確保するために開口部はできるだけ開放し、空気の流れを妨げるものを除去する。
- ウ 大型ファン・送風ダクト等による強制通風を行う。

(2) 家畜の管理

- ア 飼育密度を緩和し、密飼いにしない。
- イ 大型ファン等で家畜に直接送風する。
特に乳牛は、1日約10時間以上体を横たえるため、横臥していても直接風が当たるよう、ファンを設置する。
- ウ 暑さが厳しい場合は、ホースまたは細霧などによる牛・豚への散水等で体温を下げる。牛の場合は毛刈りも有効である。

(3) 飼料の給与及び飲水

- ア 飼料給与は朝・晩の涼しい時期に行い、また、1日に与える飼料の量を、多回数に小分けして給与し、急激な体温の上昇を防ぐ。
- イ 消化の良い飼料及び粗飼料を給与する。カビの発生した飼料や品質の悪い飼料は給与しない。飼槽の残飼は変敗するのできれいに清掃する。
- ウ ビタミン剤及びミネラルなどを補給する。
- エ 新鮮な水を飲ませる。配管の中の水温が上昇している場合は、通水する。

(4) その他

- ア 家畜の観察を励行し、熱射病等による急激な体調の変化が見られる場合は、速やかに獣医師の診療を受ける。
- イ 繁殖交配予定の家畜は畜舎の一番涼しい場所に繋ぐ等、管理をこまめに行う。

5 きのこと

- (1) ハウス内の高温による生育障害を防ぐため、換気による適切な温度・湿度管理に努める。
- (2) 換気をする場合は、害菌・害虫の進入防止対策に努める。
- (3) 害菌の早期発見に努め、汚染された菌床は速やかに撤去する。
- (4) 高温下では、きのこの品質低下が著しいので、適期収穫に努める。
- (5) 収穫したきのこは、速やかに保冷库等で保管する。
- (6) 露地栽培については、通風確保や散水などによる温度・湿度管理に努める。
- (7) 極端な温度変化による影響の早期発見に努め、適切に対応するよう留意する。